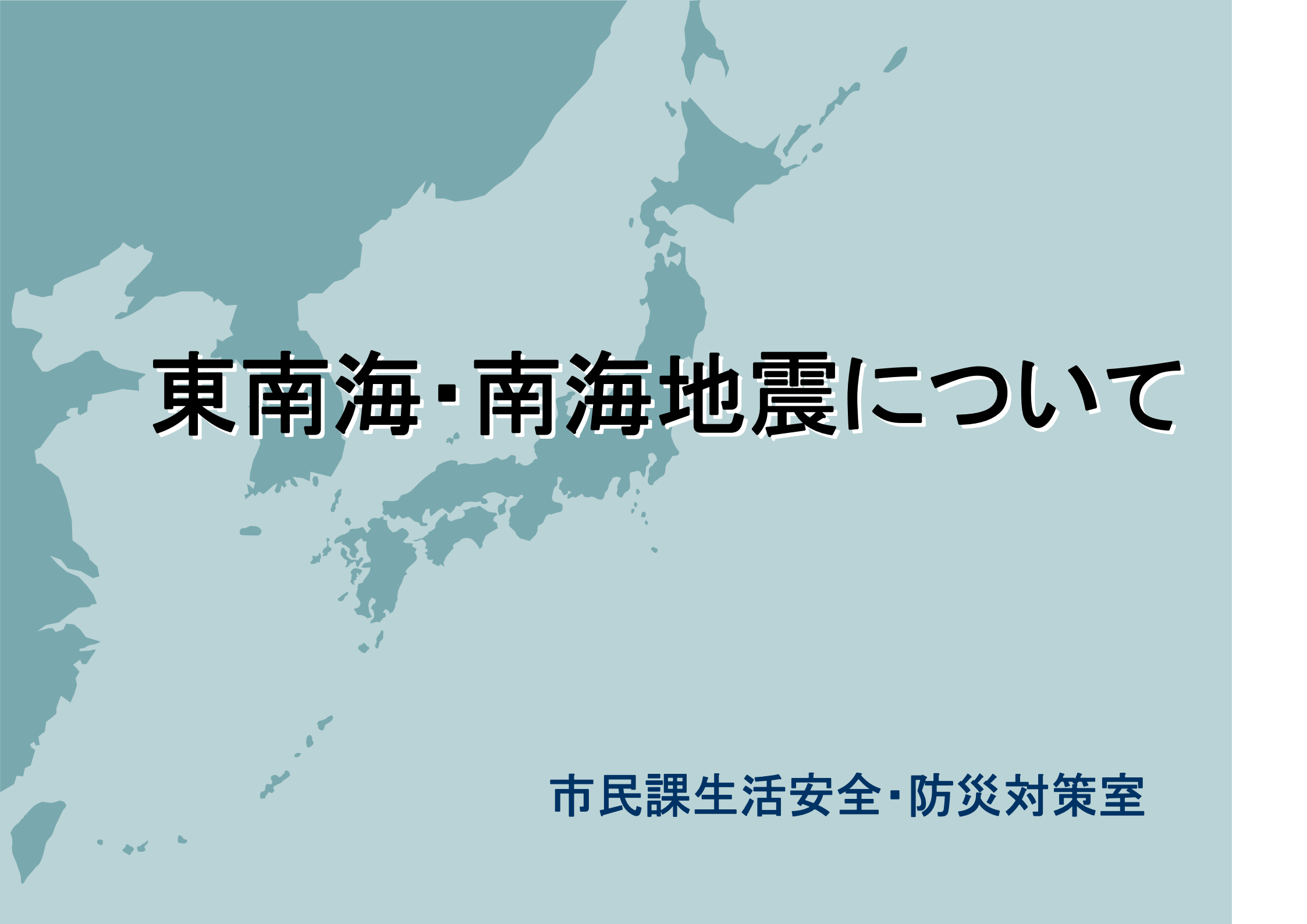
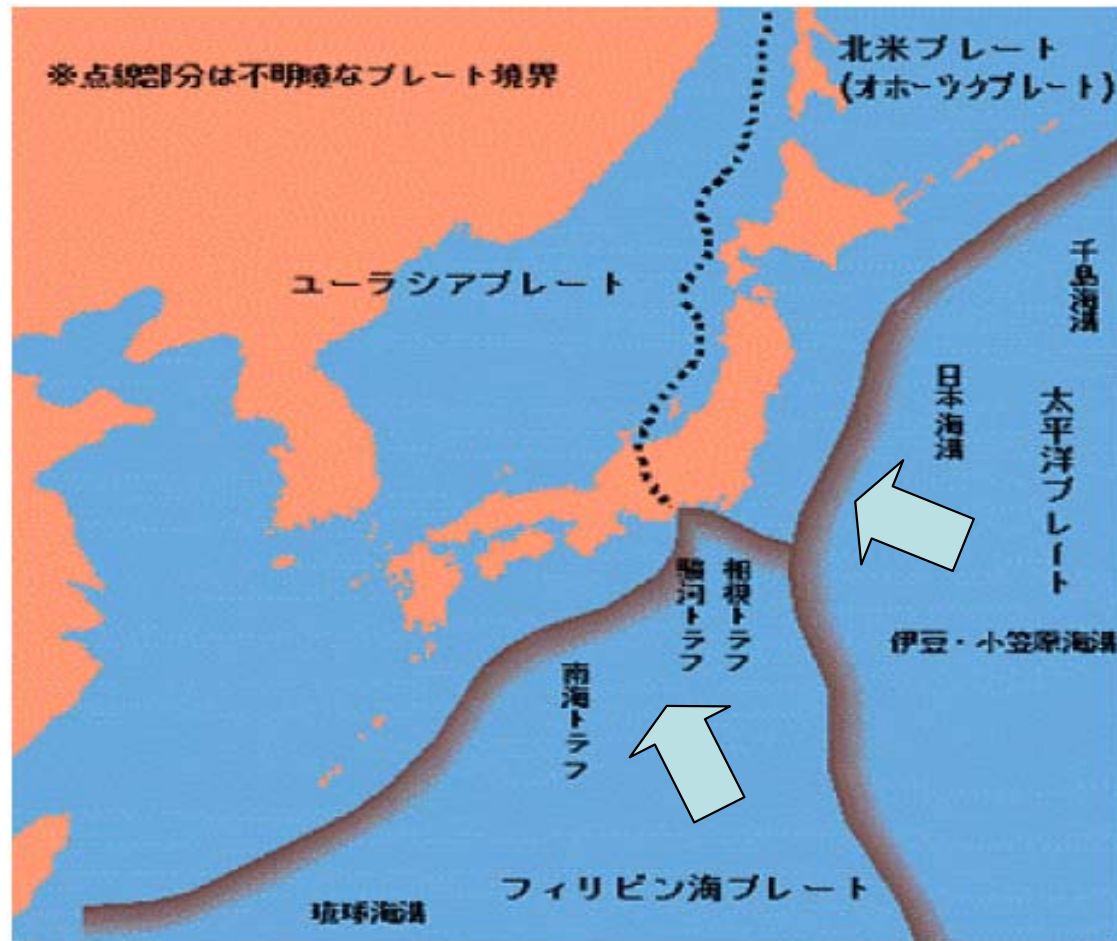


A stylized, light blue map of Japan is visible in the background, showing the main islands and surrounding waters. The map is centered and occupies most of the frame.

東南海・南海地震について

市民課生活安全・防災対策室

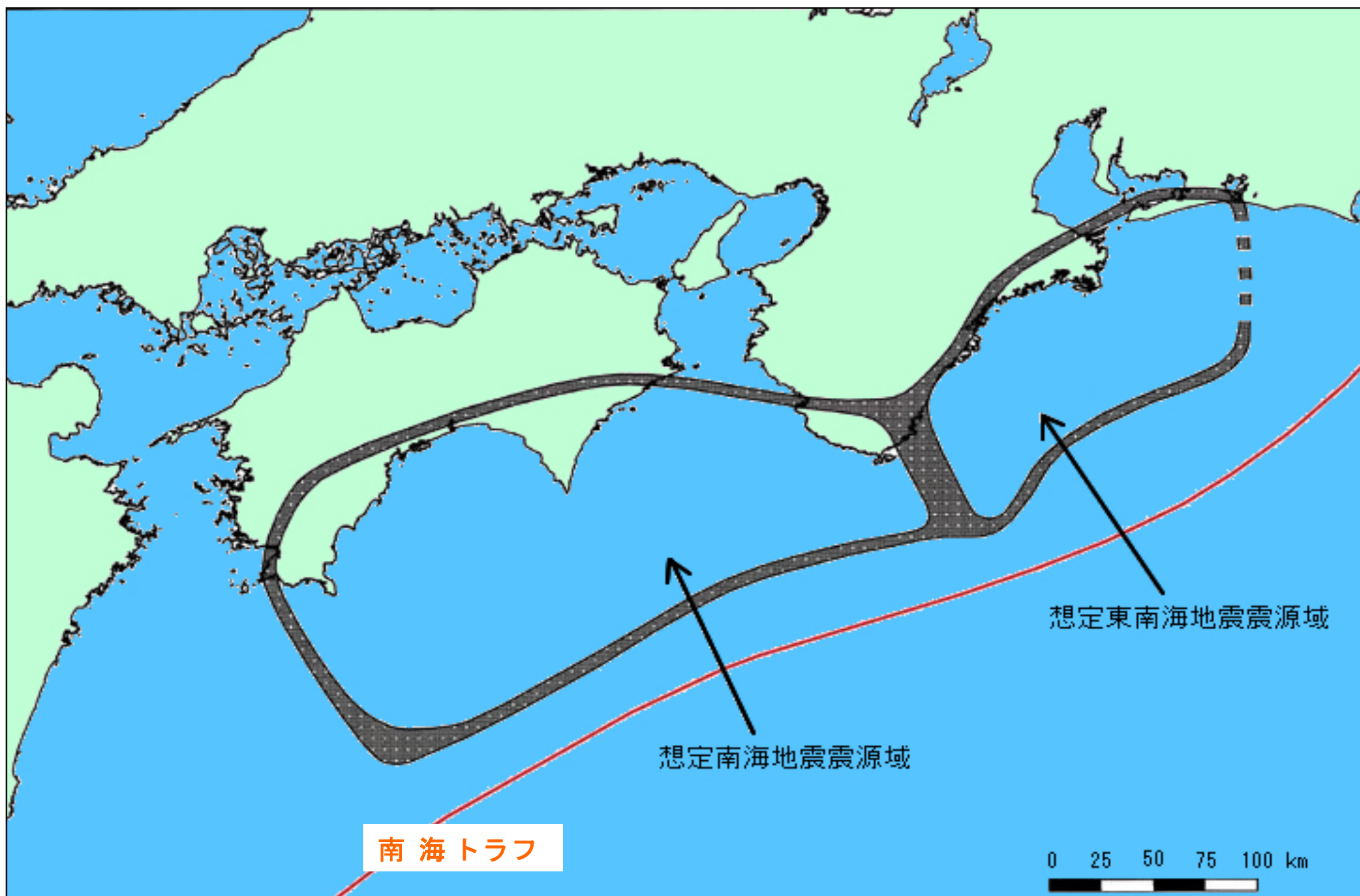
日本列島周辺のプレート運動



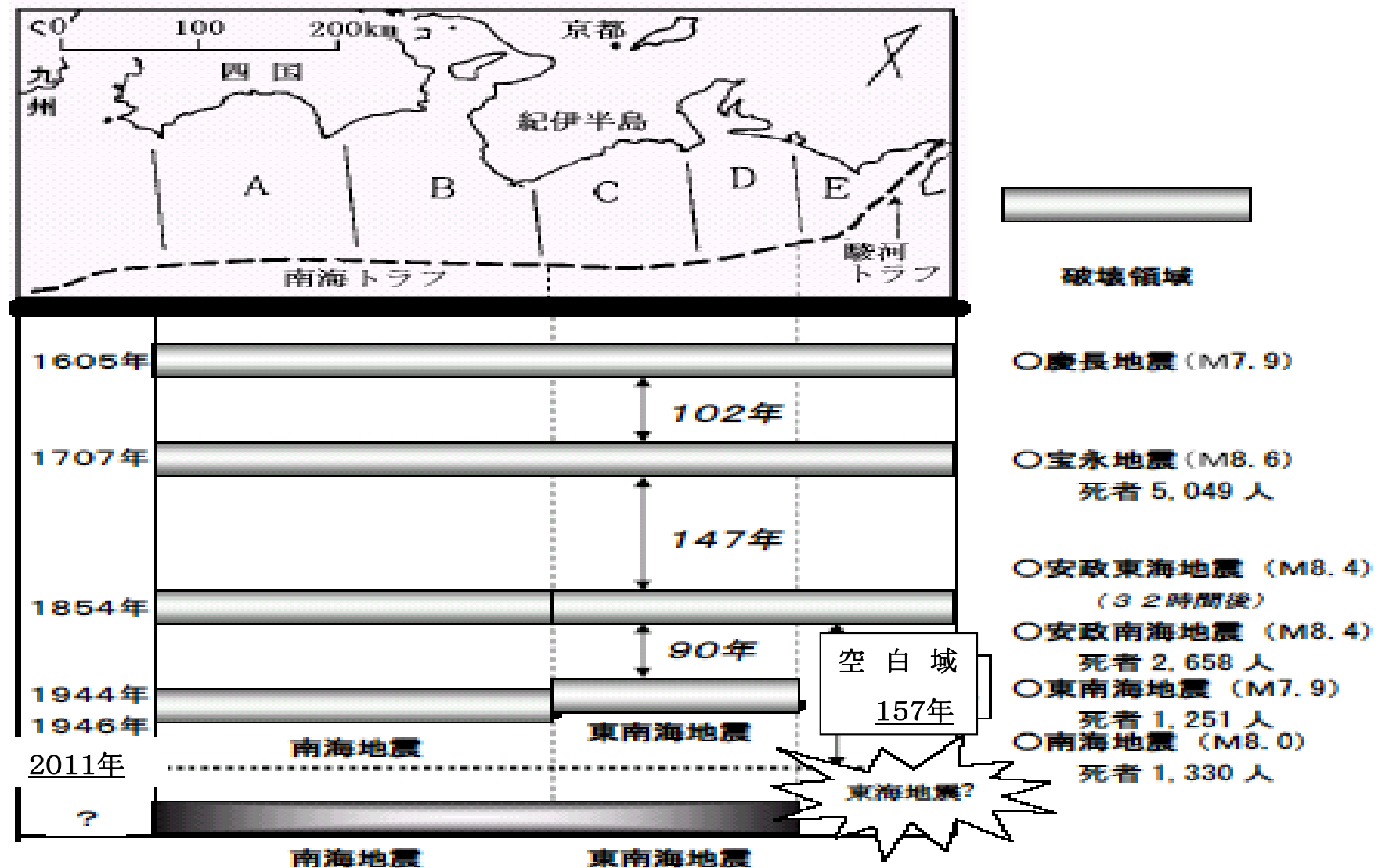
日本列島は太平洋プレート、北米プレート、ユーラシアプレート、フィリピン海プレートの4つのプレートがぶつかり合う場所に位置しています。プレート同士がぶつかり合っている場所では、プレートが変形し地下の岩盤に歪みが蓄積してきます。歪みが限界になったとき、岩盤が割れて地震を起こします。東南海・南海地震は、フィリピン海プレートとユーラシアプレートの境界線上の南海トラフで発生します。

東南海、南海地震の想定震源域

地震調査委員会による



東南海・南海地震



「南海トラフの地震の長期評価」の概要

2011年1月1日現在

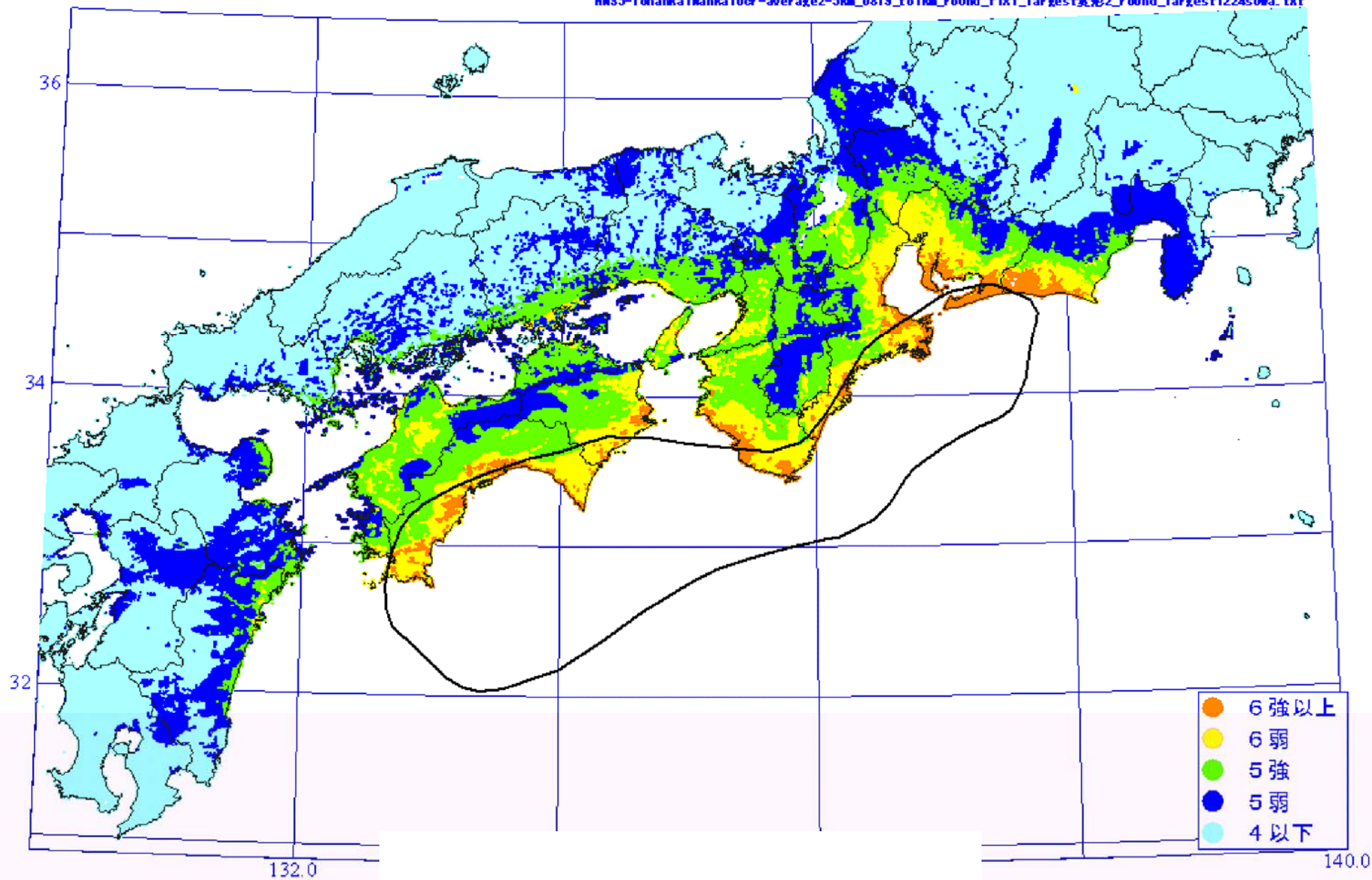
地震名	長期評価で予想した地震規模 (マグニチュード)	地震発生確率	
		10年以内	30年以内
南海トラフ の地震 (南海地震・ 東南海地震)	南海地震 8.4前後	10～20% 程度	60%程度
	東南海地震 8.1前後	20%程度	70%程度

東南海・南海地震同時発生時の震度分布予想

第14回東南海、南海地震等に関する専門調査会資料

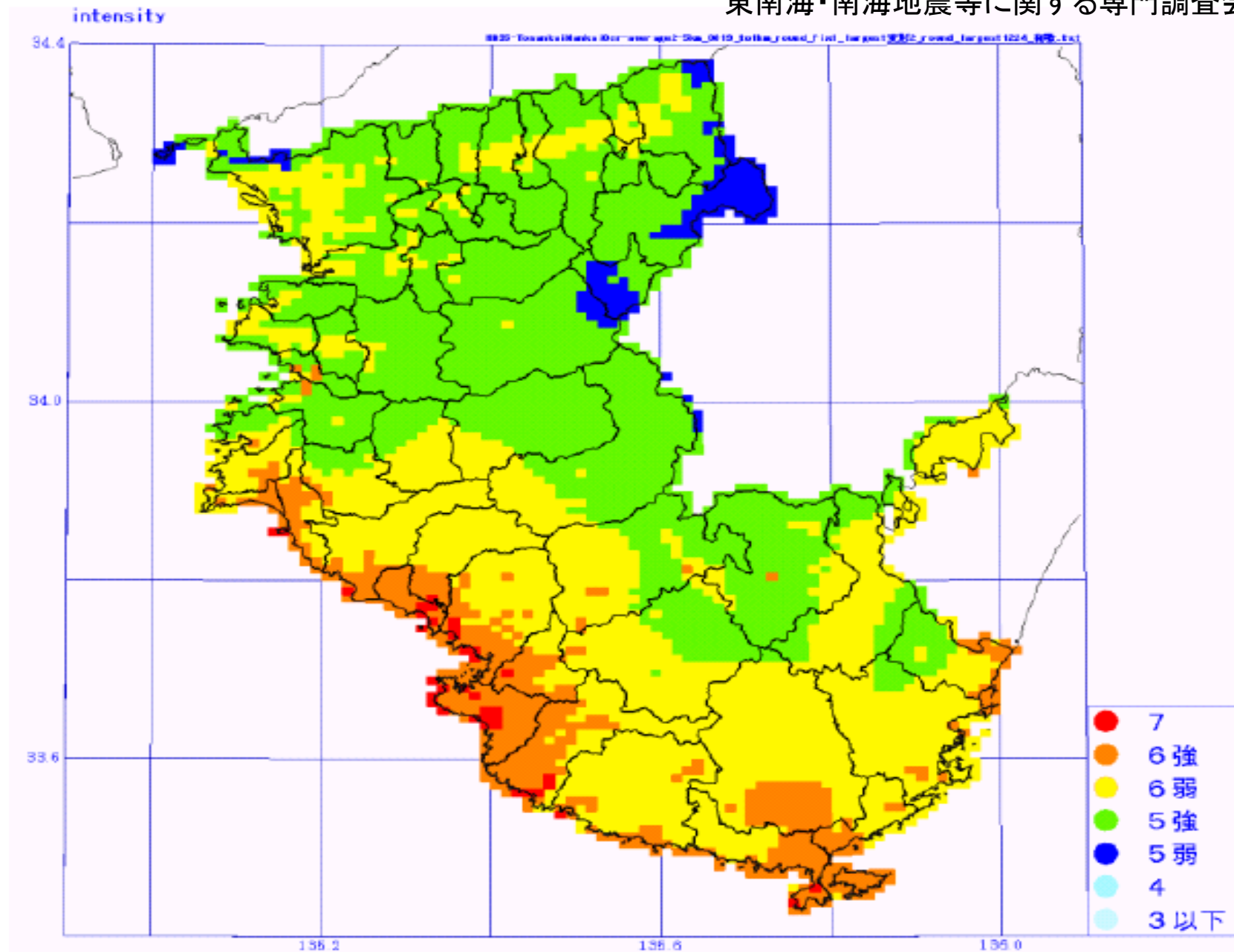
jma intensity

HM35-TonankaiNankai0cr-average2-5km_0819_to1km_round_fix1_largest実形2_round_largest1224suwa.txt



東南海・南海地震同時発生時の和歌山県の震度分布予想

東南海・南海地震等に関する専門調査会資料



東南海・南海地震の特徴（１）

- ・ユーラシアプレートの下へフィリピン海プレートが沈み込むことに伴って、プレートの境界面 [南海トラフ]が破壊する(ずれる)ことによって発生
- ・過去約100年から150年周期で発生しており
今世紀前半での発生確率が高い
- ・被害が極めて広域にわたる
- ・津波被害が甚大
- ・時間差をおいて二つの巨大地震が発生する可能性がある

東南海・南海地震の特徴（2）

- 前回の昭和東南海（M7.9）・南海（M8.0）地震はそれまでの地震に比べて規模が小さかった。
- 地震動の継続時間が長い
（1分から3分程度強い揺れが続く）
- 東南海・南海地震は同時または連続して発生する可能性が高い
- 連続して発生する場合は、東南海・南海地震の順番で発生する可能性が高い
- 東南海・南海地震の発生の前後に、西日本で地震活動が活発化